

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和5年3月8日（木）13時00分～13時30分

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原室長補佐、星上席技術研究調査官、佐藤管理官補佐（テレビ会議システムによる参加）、小西係長

東京電力ホールディングス株式会社

東京電力福島第一原子力発電所 担当者3名（テレビ会議システムによる参加）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、高い表面線量が確認された1号機の炉心スプレイ系（CS系）のテストライン（CS-24）及びポンプ出口ライン（CS-9）の追加の線量調査を行う旨の説明があった。
- 原子力規制庁から、線量計に取り付けるコリメータ（鉛による遮蔽）の形状や線量計から測定対象の配管までの距離、弁付近の測定箇所、水素滞留の可能性等について確認した。
- 東京電力から、今後計画の詳細について検討を進め、調査前に改めて説明する旨の回答があった。

6. 資料

- 1号機CS（A）系テストライン他の線量調査について

以上